


これからの催し物



古墳でお月見

月などの天体の解説の後、古墳から望遠鏡で天体観察をします。

日時 ●平成27年8月30日(日)午後6時30分～午後8時
定員 ●30名(先着順)
参加費 ●無料
申込み ●平成27年7月30日(木)より募集開始。



あなただけの土器づくり(上級編)

土器作りの経験者を対象にして、大型の土器を制作します。

日時 ●平成27年9月5日(土)・6日(日)午前10時～正午
定員 ●10名(先着順)
参加費 ●840円(粘土代)
申込み ●平成27年8月5日(水)より募集開始。



君も発掘探検隊

発掘体験場で模擬発掘を体験し、そのあとで土面作りを行います。


日時 ●平成27年9月13日(日)午前10時～正午
定員 ●15名(先着順)
参加費 ●無料
申込み ●平成27年8月13日(木)より募集開始。



水引細工

小笠原流の講師の指導で、水引を使った小物を制作します。

日時 ●平成27年9月27日(日)午前10時～正午
定員 ●30名(先着順)
参加費 ●500円(材料代)
申込み ●平成27年8月27日(木)より募集開始。


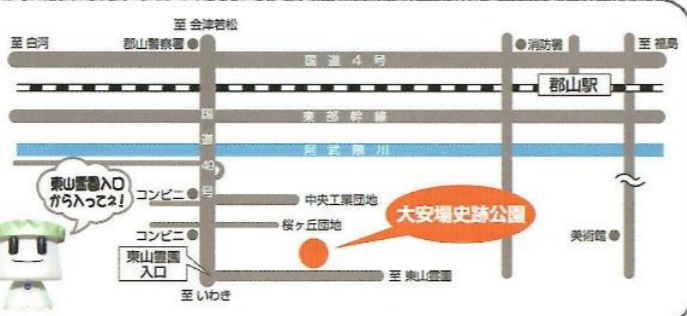


大安場史跡公園

指定管理者:公益財団法人郡山市文化・学び振興公社

住所:福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地
電話:024-965-1088 FAX:024-965-1090
Mail:oyasuba@bunka-manabi.or.jp
休館日:月曜日(月曜日が祝日の時は次の休みでない日)
※公園は年中無休です。

ウェブサイトもチェック!
大安場史跡公園 検索

おおよすばしせきこうえん
大安場史跡公園

まるさんかくしかく

vol. 25

タイトルはまるい石釧、さんかくは古墳の前方部しかくは後方を表現しています。



発行
平成27年7月31日

第1回 企画展

縄文の風景 ~ハート形土偶の生まれた時代~

三千七百年の時をこえ、ハート顔の女神たちが郡山に集う!

平成27年度 大安場史跡公園 第1回企画展
7月11日(土)～8月30日(日) 入場無料

会場:大安場史跡公園ガイダンス施設
時間:午前9時～午後3時(入場は4時30分まで) 休館日:7月13日(日)

大安場史跡公園
TEL:024(965)1088 FAX:024(965)1090
E-Mail:oyasuba@bunka-manabi.or.jp Web: http://www.bunka-manabi.or.jp/oyasuba

今から約3,700年前、不思議な顔立ちの土偶が作られていました。その顔の形からハート形土偶と呼ばれています。中でも、群馬県の郷原遺跡で見つかったハート形土偶は、教科書などにも取り上げられるので有名です。みなさんもご存知かもしれませんね。

このハート形土偶は、その起源や分布を調べていくと、この福島県にたどり着きます。今回の展示では、この謎の多いハート形土偶について考えてみたいと思います。

7/11(土) ▶ 8/30(日)
9:00 ▶ 17:00 (入場は16:30まで) **入場無料**

かもうち ハート形土偶の聖地探訪 鴨打A遺跡



企画展“縄文の風景～ハート形土偶の生まれた時代～”が、7月11日から始まりました。展示会の主役はハート形土偶。1万年以上続いた縄文文化を代表する遺品のひとつで、今から約3700年前の縄文時代後期前半、郡山市田村町や三春町などの阿武隈高原を中心とした地域の先人が、亡くなったや動植物の再生儀式に用いた祈りの道具です。

ハート形土偶は全国で800個近く発見されていますが、その内の約15%を占める120個あまりが鴨打A遺跡から発見されています。今号は、阿武隈高原の西端、田園が広がる田村町手代木の高台に栄えたハート形土偶の聖地、縄文時代を中心とした集落跡の鴨打A遺跡を訪ねてみましょう。

鴨打A遺跡は、平成2～5年に農地整備事業に伴い5ha近くが発掘されました。調査によって94軒の縄文時代から古代の竪穴住居跡や、木の実を保存した地下式の貯蔵穴群とともにハート形土偶がたくさん発見されています。

遺跡からは、ハート形土偶と同じ時代の住居跡も発掘されていましたが、その数は土偶に見合うものではありませんでした。そのアンバランスは鴨打A遺跡の謎のひとつでしたが、企画展のために関係する遺跡を調査した結果、ハート形土偶が多数発見されているいわき市愛谷遺跡も同じ状況だとわかりました。鴨打A遺跡や愛谷遺跡が営まれた場所は、前方に平野や盆地をひかえ、遠くの山並みや地平線、水平線が望まれる景観の良いところです。

縄文世界に暮らした人びとは、自分の集落から離れた景観の良いパワースポットまで土偶を運び、再生の儀式を行っていた可能性が高いようです。



鴨打A遺跡から出土した縄文時代後期前半のハート形土偶の顔



縄文時代中期中ごろの貯蔵穴



- 鴨打A遺跡全体図
- 縄文時代中期中ごろの住居跡(4700～4300年前)
 - 縄文時代中期後半の住居跡(4300～4000年前)
 - 縄文時代後期の住居跡(4000～3700年前)
 - 古代の住居跡(1700～1200年前)



遺跡の様子
写真中央が鴨打A遺跡で、上方が郡山市街地



ステバの様子

谷からは縄文時代中期中ごろに使われた土器や土偶がみついています



縄文時代中期後半の竪穴住居跡

直径約5mの丸い住居で、中央にみえる長さ約2mの楕円形の範囲が複式炉、並んでいる円形の小穴は柱を建てた穴



縄文時代後期前半の竪穴住居跡

直径約4mの丸い形の住居で、中央にみえる石で囲った直径約50cmの場所が炉の跡

